

栃木市の非核平和事業

栃木市では、栃木市非核平和都市宣言の趣旨を踏まえ、戦争の悲惨さや核兵器のおそろしさを伝えるとともに、命の尊さや平和について考える機会を設けるため、今年も各種啓発事業を実施しました。

戦争体験を聞く会

戦争体験を風化させることなく、後世に伝えていくため、8月17日に「戦争体験を聞く会」を開催しました。



戦争体験の語り部である毛塚昌弘さんと湯澤トヨさんに、戦時中の栃木市での生活の様子や、宇都宮空襲での体験等を語っていただきました。



広島平和記念式典への中学生派遣

「広島平和記念式典中学生派遣団」として市立中学校から2年生2人ずつ、計26名を広島へ派遣しました。派遣された中学生は原子爆弾の恐ろしさを現地で感じ、戦争の悲惨さや平和の尊さについて学びました。



- ・8月5日：平和記念公園・平和記念資料館の見学
- ・8月6日：平和記念式典参列、宮島見学、元安川灯ろう流し参加
- ・8月7日：「原爆の子の像」への千羽鶴奉納、被爆体験講話学習

平和記念式典参列

8時に平和記念式典が始まり、原爆死没者名簿奉納、代表者による献花の後、原子爆弾が投下された8時15分に、鐘の音とともに黙とうが行われ、平和への祈りをささげました。



【派遣団員の活動報告からの抜粋】
「広島市の小学生による『平和への誓い』で『私たちにもできることがあります。自分の思いを伝える前に、相手の気持ちを考えること。友達の良いところを見つけること。」

持ちを考えると。友達の良いところを見つけること。

みんなの笑顔のために自分の力を使うこと。』という部分に最も感銘を受けました。自分たち一人ひとりの力で、平和に近づけるのだなと実感しました。」
「原爆が落とされてもう78年が経ちます。原爆について、戦争について知っている人が少なくなっていく中、このような式典に参加できたことはとても貴重な体験でした。だからこそ、学んだこと、気づいたことをたくさんの方々に詳しく伝えていきたいです。」
「広島市長の平和宣言の中に、『若い方々に平和への思いを高めて、広島について発信して欲しい。』という言葉がありました。この言葉に、私たちが今回、派遣団員として広島を訪れた意味や使命があると思います。広島派遣で学んだことを、皆さんのことを、たくさんの方々に詳しく伝えていきたいです。」



被爆体験講話学習

被爆された方から、原爆被害の実態と被爆体験を直接伺いました。（講師：脇舩友子さん）

【派遣団員の活動報告からの抜粋】
「講師の脇舩さんから、たった一つの原子爆弾で14万人の人々の命が奪われ、賑やかだった広島市の街が一瞬にして変わり果ててしまったと聞き、今の広島からは想像できずとも衝撃でした。」
「たった三歳の子供が『生きていることが幸せ』と毎日

左ページへ

きりぎりしとちぎ



とちぎ高校生蔵部 部長
高校3年生
さとう みひろ
佐藤 美裕 さん

栃木市内にある高等学校のメンバーを中心に、学校の枠組みを越えて蔵の街とちぎの街づくりに取り組むサークル活動、『とちぎ高校生蔵部』（以下、蔵部）で今年度の部長を務める佐藤美裕さんにお話を伺いました。

蔵部で作成した市内のラーメンマップ（市ホームページにて公開しています）

リーダーは人見知り？

今年で10年目を迎えたとちぎ高校生蔵部。節目となる10代目部長を担うのは、K-POP好きのイマドキ高校生、佐藤さん。元々、友達とのやりとりは好きだけど、初対面の人と話すのは苦手…という性格だったそうですが、高校2年生から参加した蔵部の活動の中で、気持ちに変化が。

「街づくり活動を通じて、多くの人たちと触れ合う経験を経て、コミュニケーションに自信が持てるようになりました。幅広い世代の人と協力して活動する事で、精神的に成長できたと感じています。」と話す佐藤さんは、20名令和5年9月現在の蔵部メンバーを立派にまとめあげるリーダーです。
ボランティアからラーメンまで

街づくりに関する様々な活動を行う蔵部ですが、実際に今年度はどんな活動を行ったのか、お聞きしました。「主な活動は、イベント等でのボラ

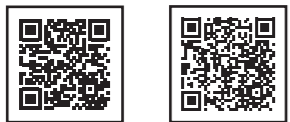


ンティアです。最近では巴波川で行った灯ろう流しや、県誕生150年記念イベントの熱気球体験のお手伝いをしました。また、秋の恒例、高校生合同文化祭を今年も9月17日に開催したり、石巻市で現地の高校生ボランティア団体との意見交換を行いました。」
「たくさんの方々の活動の中でも一番思い出深かったことは何でしょうか？」
「ラーメンマップを作ったことです。毎年蔵部で市内散策マップを作成しているのですが、今年は趣向を変えて、市内のラーメン店を紹介するマップを作りました。大変でしたが、大反響をいただきました、とても嬉しいです。」

高校生の皆さんへ！

蔵部は新メンバーを大募集中！とのこと。蔵部の活動の魅力とは？
「学校・学年の垣根を越え、色々な友達ができるのが蔵部の良いところです。メンバーが多いほど賑やかになり、活動の幅も広がるため、皆さんの参加をお待ちしています。興味のある方はぜひ活動を見に来てください。」
蔵部へのお問合せは「こちら」へ

とちぎ高校生蔵部 メンバー大募集！！



X (旧 Twitter) Instagram
活動の様子は SNS で発信中！
上の二次元コードをチェック！！
入部希望などのお問合せは…
生涯学習課 ☎ (21) 2489 まで

右ページより

のように思うほど、原爆はおだやかな生活を壊しました。『命からがら逃げてきた人々は、血だらけで皮膚がとけ目が飛び出していた』この言葉を聞いたとき、とても背筋が凍りつきました。原爆は時代をこえて、人の心に深い傷を負わせたことが伝わってきました。」
「今現在、平和に暮らしていることが、どれだけ幸せなことかを改めて感じる事ができました。今では当たり前のように感じている、みんなと同じようにできるといふことはとても幸せなことだと私は講話を聴いて思いました。」

「原爆の子の像」への千羽鶴奉納

各中学校で心を込めて作成した千羽鶴、とちぎ平和展等で市民の皆さんに作っていただいた折り鶴は、大切に「原爆の子の像」に奉納してきました。



広島平和記念式典中学生派遣報告会

8月24日、派遣団員が、派遣で学んだことや感じたことを市民の皆さんの前で発表しました。今後は各校の学校祭などで発表し、原爆の恐ろしさや平和の尊さを全校生徒に伝えます。

☎ 総務人事課 (21) 2342

